

## 「ビギナーを集める具体的な方策」結果と検証

昨年、一昨年と過去2回において行われた“SDの仲間を増やしていくにはどうすれば実現できるのか？”“なぜビギナーが集まらないのか？”と言う題目で行われたグループ討論（ブレインストーミング）についての経過、内容、どのような意見が出たのかを話したいと思います。そして本日のクラブスタッフ研修会の参考になればと思います。

平成28年、平成29年と2回にわたりクラブスタッフ研修会行われました。平成28年は45人の受講生と総務委員12名が5つのグループに分かれてグループ討論（ブレインストーミング）を初めて行いました。平成29年の二回目は受講生36名と総務委員10名が4グループに分けてグループ討論を行いました。それまではクラブスタッフ研修会はパネラーを中心にディスカッションをしてきました。パネラーの話聞く事が多くて、自分の意見を話す機会は少なかったので出席者の意見は余り聞かれませんでした。

10人前後のグループを作ったグループ討論（ブレインストーミング）は個々の意見が出やすく又参加者が気楽な雰囲気の中で、意見や発言ができるため多くの現実的な意見が出ました。既成概念にとらわれず自由奔放にアイデアを出す形式でのブレインストーミングは、いくつかのグループに分けての顔の見える人数での討論だったので普段あまり発言しない人を含めて多くの意見が出たグループ討論でした。二年間において多くの意見が出ましたのでその意見を話したいと思います。

### ●なぜビギナーが集まらないのか多くの意見が出ました。

- ・SDのビギナー講習に誘うと10人中ほぼ全員が“SDって何？”という返事が返ってきます。これはSDの知名度がひくいからであり、多くの方がSDの知名度の低さを指摘しました。
  - ・またSDを説明しようとした時、SDを説明しにくい。
  - ・誘った時の“ダンス”という言葉に抵抗を感じる。そして“ダンス”という言葉から社交ダンスを連想してしまい社交ダンスと勘違いする。
  - ・コスチュームを見た時に“あんなものは着れないわ”と感じる人が多い。
  - ・英語のコールを聞いたとき抵抗を感じる。英語についていけない。なじみがない。ダンスの言葉に抵抗を感じる。
  - ・ビギナー募集のチラシを見てもSDがどんなダンスなのかイメージが分からない、SDを理解しにくい。
  - ・いろいろな趣味のクラブがたくさんあり、多くの人はもう色々な趣味を持っている。
  - ・退職後にSDを覚えるのが大変。
  - ・SDを踊れるまでになるのに時間がかかる。（最低4か月）難しい。
  - ・会場が点々として一つに定まらない。会場が遠い。
  - ・年齢的な問題があり夜の車の運転が大変。
  - ・夜の例会に参加しにくい。（年齢的に夜より昼の方が参加しやすい。）
  - ・メンバーの年齢層が高いので若い人が溶け込みにくい。
  - ・女性が多くて男性が入りにくい。
- などビギナーが集まらない多くの意見がありました。

### ●S協本部への要望。

SDをしている多くのダンサーはSDの知名度が低い事を感じています。ビギナー講習に誘ってもSDを知っている人はほとんどありません。知名度を上げるためにはどうしたら良いのか？S協本部に対して知名度を上げるための方策を要望する意見が多くありました。

- ・SDの紹介のビデオ（楽しさを目で見て感じるようなビデオ）を作成してほしい。（以前あったVHSをDVD

にして更新してほしいという要望。)

- SD って何と聞かれた時に説明できるパンフレッドを作してほしい等の要望がありました。
- 芸人をお願いして SD を覚えてもらい PR する。(以前北海道で行われた芸人<sup>おおいずみよう</sup>大泉洋さんがアナウンサーと<sup>こうとうむけい</sup>荒唐無稽なトークを繰り広げながらの SD の紹介は本当に楽しさが伝わってくるようでした。また若者を取り込むためにも AKB に SD を覚えてもらい PR する。) このようにメディアを使って SD の知名度を上げる。
- 皇族の方に SD を覚えてもらい PR をお願いする。(以前亡くなられた三笠宮殿下が SD をしていた時はかなりの PR になったと思います。)
- SD の日を決めて PR する。キャッチコピーを作る。(例えば みんなで楽しくウォーキング)、などの意見がありました。
- SD に競技の要素を取り入れ競技性をもたせるイベントを企画する。(楽しさばかりでなく競技性を持った大会を企画して競い合う SD をする。以前名古屋でのコンベンションで企画したが、とても盛り上がったそうです。)
- 全国一斉に同時に SD のデモンストレーションをして PR する、また歩行者天国や盆踊り会場、お祭りなどのような人が集まる所でデモンストレーションをする等の意見がありました。これらは S 協本部に対しての要望でした。

と同時に私たち自身が知名度を上げる取り組みとして町、市、区のメディア、広報誌、地域新聞、ケーブル TV を活用したり、市議員や区議会議員を取り込んでの活動に、学校へのアプローチをして、カリキュラムに取り入れてもらう。などをして知名度上げる、方策の意見がでました。

● “ビギナーを集めるための具体的な方策” で出た意見です。

- 口コミでのビギナー獲得が今までの経験から一番確実なのですが、その口コミで連れてくる対象者が居なくなり限界が来ている意見がありました。ですがまだ連れてきていない一番身近な人である主人、子供、家族を連れてくる。(奥さん、お母さんがどんなことをやっているのか気楽に見に来てもらい、身近から SD を理解してもらう。)
- 友人等の別のサークルに参加して SD に勧誘する。(あるクラブでは、SD とゴスペルとふたつを趣味にしている人がいまして、SD からゴスペルへ、ゴスペルから SD にと二つの趣味をやる人が増えました。)
- SD を辞めた人にもう一度アプローチする。(SD の楽しさを思い出してもらい復帰してもらう)
- メディア、広報誌、地域新聞、ケーブル TV 等を活用して SD の無料講習またはビギナーを集める。(TV で楽しく SD を踊っている映像をみて実際に電話等の問い合わせがいくつもあった。)
- 日常的に声掛けをしておく。  
(ビギナー講習は日程が決まっているのでいきなり声をかけるより普段からアプローチしてその間にユーチューブ等を見てもらい SD を理解してもらう。)
- SD の無料体験講座の機会を多く設ける。(SD は体験して楽しさが分かるものです。その体験会の機会を多く設ける事が必要だという意見がありました。)
- 脳トレ、ボケ防止、歩く体操、ウォーキングのような SD の効能を強調し、チラシを作る。宣伝をする。
- SD の無料体験講座のチラシに教育委員会等の公的組織の後援をもらう。(チラシを見て後援に何々教育委員会がチラシにあると見た人が安心して、参加しやすくなるのではないか。)
- 市町村の公開講座に SD を組み込んでもらう。(市町村が主催だと気楽に安心して参加できるので、その時に SD の楽しさを体験してもらう。)
- 募集の決定的な方策はない。みんなでコツコツやるのみ。それしかない。

- ・例会での環境を良くする。(例会での雰囲気をよくして SD の楽しさを味わってもらおう。楽しくなければ続けない。気楽にビギナーが参加出来るようにする)
- ・コーラーの力による所が大きいのですが、ビギナー講習をより楽しくする。(ビギナーが楽しさを感じれば続けてもらえる。楽しさを感じないと敬遠されてしまいます。ビギナーには SD の楽しさを一番に、味わってもらおう。細かいことは言わない。楽しさだけを味わってもらおう。そしてビギナーを楽しく踊らすとそのビギナーがまたビギナーを連れてくる。)
- ・ビギナー講習の時期の設定はフレキシブルに考える。(地域によって年齢層によって事情が異なるのでその地域、状況に合ったビギナー講習の時期を設定する。)
- ・運営に関して、ビギナーを終えた新しいメンバーと指導部による新人プロジェクトによる会の活性化をする。(ビギナーを卒業した新しいメンバーによる新しい考え方やアイデアを取り入れてチラシ作り、ビギナークラスのあり方、例会を運営する。)
- ・募集対象を絞る。(昼間の例会は退職をした人、主婦などを対象にして、夜の例会は若者を対象に、また仕事をしている人を対象にチラシを作る。また例えばチラシに 40 歳以下と書いて若者を取り込む。また募集人数に“限定”をつける。)
- ・例会の会場をオープンにする。(例会場の事情があると思うが、普段から例会の内容、SD をオープンにして見てもらうことによって SD を理解してもらおう。)
- ・夏休みに親子で SD を体験、参加できる機会を設ける。(地域の小学校を取り込み親子でできる SD の体験教室を企画する。親子での体験は気楽に参加できるのでは。)
- ・JR、私鉄の駅のギャラリー、広報誌を利用してビギナー募集、SD を知ってもらう。
- ・地元の大きな企業に PR に行き、リタイアする人に SD を紹介、勧誘する。(退職をする人は仕事を辞めたら何をしようかと考えているはずです。その時に SD を紹介すると効果がある。)
- ・自分のクラブのホームページをもとう。(クラブが具体的にどうゆう活動をしているのか、口で説明するよりよりホームページがあると説明等がしやすいのでは。)
- ・フォークダンスのクラブの中に入って SD の PR をする。
- ・若い人を誘うために婚活パーティーを兼ねてビギナーを募集する。(親が子供を誘う。親子での参加。)
- ・歌の好きな人を対象にダンサーでなく将来のコーラーとして誘う。
- ・同窓会等で PR する。
- ・趣味でなく生涯学習とする。

- ・クラブの運営に対して、ビギナー獲得に対して各クラブで話し合いを設ける。(クラブに対しての意識を高めるために、クラブに合ったビギナー獲得方法を見つけるためにも、現状のクラブの問題点を探すためにもクラブ内で話し合いをする事が一番必要ではないか。)

このクラブスタッフ研修会でのビギナー獲得するためのこのグループ討論(ブレインストーミング)を各クラブに持ち帰って、そのクラブに合ったビギナー獲得法を見つけてみたらどうでしょう。

(各 SD クラブは地域性、交通性、年齢などまちまちなのでその SD クラブに合ったビギナー獲得方法を模索するためにもグループ討論(ブレインストーミング)を行って下さい。)

以上、多くの色々な意見、提案が出ました。これらを参考に、午後からのグループ討論(ブレインストーミング)に役立ててもらえればと思います。ご静聴ありがとうございました。